

附属明細書

1 文化事業

(1) 市民会館文化事業

No.	事業名
1	愛知県合唱祭（同時開催：全日本おかあさんコーラス愛知県大会）
2	愛知県合唱コンクール
3	NHK全国学校音楽コンクール ○ 愛知県コンクール ○ 東海北陸ブロックコンクール
4	セントラル愛知交響楽団連携事業 ○ 公開講座、公開リハーサル ○ 名曲コンサート
5	ファミリープログラム「子犬のバーニー」
6	音楽家の集い
7	エレクトーンフェスティバル
8	ワンコインコンサートスペシャル音楽三昧
9	響け！！未来の音楽家 ○ 吹奏楽部サポート編 ○ 吹奏楽演奏会
10	稲沢の音楽家シリーズ ○ 坂田晃一プロデュース公演 管
11	A N E Tあそび塾
12	アウトリーチ
13	こどもの芸術鑑賞支援事業
14	稲沢市民寄席 ○ 桂宮治落語会 ○ 古今亭文菊独演会
15	ファミリーコンサート 鉄道物語 in 稲沢
16	稲川淳二の怪談ナイト
17	ファミリー映画会
18	誘致事業「ミュージカル」「落語」「コンサート」
19	友の会

※ 19事業30公演

ア 会館象徴事業 3事業

No.1 愛知県合唱祭（同時開催：全日本おかあさんコーラス愛知県大会）	
日 程	6月10日（土）・11日（日）、10月7日（土）、11月5日（日）
会 場	中ホール（6月）、大ホール（10月・11月）
入 場 料	一般700円、小中高生500円
入場者数	一般1,154人、小中高生228人、合計1,382人
収 支	収 益 0円
	費 用 520,710円
	差引額 △ 520,710円
結 果	天井改修工事による大ホール、中ホールの利用停止期間に配慮した分散開催となりましたが、116団体に参加いただきました。

No.2 愛知県合唱コンクール	
日 程	8月12日（土）・13日（日）
会 場	大ホール
入 場 料	一般1,000円、小中高生700円
入場者数	一般1,421人、小中高生645人、合計2,066人
収 支	収 益 0円
	費 用 689,220円
	差引額 △ 689,220円
結 果	大ホール天井改修工事完了後の初事業として2日間で延べ約2千人の来場者を迎え、音響効果に対しても高い評価をいただきました。

No.3 NHK全国学校音楽コンクール	
No.3-1 愛知県コンクール	
日 程	8月23日（水）・24日（木）
会 場	大ホール
入 場 料	無料
入場者数	1,893人
No.3-2 東海北陸ブロックコンクール	
日 程	9月9日（土）・10日（日）
会 場	大ホール
入 場 料	無料
入場者数	2,353人
収 支	収 益 0円
	費 用 1,013,533円
	差引額 △ 1,013,533円

結 果	愛知県コンクール、東海北陸ブロックコンクールともに、進行や観覧をコロナ禍以前の方法に戻して安全に開催し、また、稲沢市を伝統ある NHK コンクールの開催地であることもアピールしました。
-----	--

イ 連携事業 5事業

No. 4 セントラル愛知交響楽団連携事業	
No. 4-1 公開講座、公開リハーサル	
日 程	5月11日(木)、6月23日(金)、7月8日(土) 9月14日(木)、11月9日(木)、1月18日(木)
会 場	公開講座 : 小ホール 公開リハーサル : 中ホール(5月～7月)、大ホール(9月～1月)
入 場 料	無料
入場者数	公開講座 : 307人 公開リハーサル : 531人 合計 838人
収 支	収 益 0円
	費 用 1,158,793円
	差引額 △ 1,158,793円
結 果	本事業は貴重な文化体験の機会であるため、大ホールが天井改修工事による利用停止期間中は中ホールを会場にして開催しました。 また、1月の公開リハーサルでは、コロナ禍で中止していたロビーコンサートも再開しました。
No. 4-2 名曲コンサート「第13回稲沢特別演奏会」	
日 程	12月16日(土)
会 場	大ホール
入 場 料	1,500円
入場者数	948人
収 支	収 益 0円
	費 用 427,515円
	差引額 △ 427,515円
結 果	フルオーケストラによる演奏プログラムにディズニー作品を組み込むことにより、多くのファミリー層に会場いただきました。 なお、入場料は共催相手の収入となるため、収益はありません。

No. 5 ファミリープログラム「子犬のバーニー」	
日 程	8月9日(水)
会 場	小ホール(2回公演)
入 場 料	大人 1,500円 中学生以下 750円

入場者数	① 91 人、② 78 人、合計 169 人
収 支	収 益 186,000 円
	費 用 663,180 円
	差引額 △ 477,180 円
結 果	参加者には、海外の出演者による独特の世界観や文化の違いを親子で体験していただきました。 また、愛知県芸術劇場との連携により、財団職員が他館の運営方法等の習得の場となりました。

No. 6 音楽家の集い	
No. 6-1 vol. 96 トリオぶらんこ	
日 程	4 月 11 日 (火)
会 場	中ホール
入 場 料	1,000 円
入場者数	29 人
No. 6-2 vol. 97 尾高詩音里&新庄龍馬「デュオリサイタル」	
日 程	5 月 26 日 (金)
会 場	中ホール
入 場 料	1,000 円
入場者数	40 人
No. 6-3 vol. 98 峰岸桂子&ルイス・サルトル「ラテンの魅力」	
日 程	6 月 14 日 (水)
会 場	中ホール
入 場 料	1,000 円
入場者数	73 人
No. 6-4 vol. 99 後藤浩二クインテッド「スペシャルジャズライブ」	
日 程	7 月 20 日 (木)
会 場	中ホール
入 場 料	1,000 円
入場者数	101 人
収 支	収 益 159,800 円
	費 用 831,028 円
	差引額 △ 671,228 円
結 果	4 回の公演招待券を活用し、文化事業全体の P R に努めました。

No. 7 エレクトーンフェスティバル	
No. 7-1 エレクトーンフェスタ-BAL「めちやエレ」	
日 程	8月25日（金）
会 場	中ホール
入 場 料	無料
入場者数	140 人
No. 7-2 エレクトーンフェスタ-BAL「Live！De La DAGANE vol.12」	
日 程	8月26日（土）
会 場	小ホール
入 場 料	前売 2,000 円、当日 2,500 円
入場者数	110 人
No. 7-3 エレクトーンフェスタ-BAL「アニソン JACK！」	
日 程	8月27日（日）
会 場	中ホール
入 場 料	無料
入場者数	200 人
収 支	収 益 0 円
	費 用 996,526 円
	差引額 △ 996,526 円
結 果	「めちやエレ」は音楽大学生による自主企画、「Live！De La DAGANE」は、プロ奏者によるエンターテインメントショー、「アニソン JACK！」は参加型の企画として、電子オルガン（エレクトーン）のコンサートを3つの異なるコンセプトで実施しました。 なお、入場料は企画運営者の収入となるため、収益はありません。

No. 8 ワンコインコンサートスペシャル音楽三昧	
日 程	3月10日（日）
会 場	大ホール
入 場 料	1,000 円
入場者数	836 人
収 支	収 益 898,000 円
	費 用 3,301,100 円
	差引額 △ 2,403,100 円
結 果	参加者には、海外の出演者による独特の世界観や文化の違いを親子で体験していただきました。 また、愛知県芸術劇場との連携により、財団職員が他館の運営方法等の習得の場となりました。

ウ 育成事業 3事業

No.9 響け!! 未来の音楽家	
No.9-1 吹奏楽部サポート編	
日 程	5月6日(土)
会 場	課題曲クリニック：中ホール 楽器別クリニック：小ホール、練習室、研修室、講習室など
参 加 費	10,000円(中学校1校当たり)
参 加 校	4校(138人) 中ホール入場者数500人
収 支	収 益 40,000円
	費 用 561,190円
	差引額 △ 521,190円
結 果	課題曲クリニックに県立木曽川高等学校生徒による実技サポートを組み合わせたことにより、見学だけの生徒に対しても効果的な学びの機会とすることができました。
No.9-2 吹奏楽特別演奏会「ウインドアンサンブル ア・ラ・カルト 2023」	
日 程	11月25日(土)
会 場	大ホール
入 場 料	2,000円
入場者数	254人
収 支	収 益 177,400円
	費 用 1,558,397円
	差引額 △ 1,380,997円
結 果	部活動の内容、環境が学校によって大きく異なることから、鑑賞機会として吹奏楽演奏会を実施しました。 また、参加した中学校吹奏楽部の生徒には、演奏者とステージ上で共演する機会を設けました。

No.10 稲沢の音楽家シリーズ 坂田晃一プロデュース公演「vol.2 管」	
日 程	7月9日(日)
会 場	中ホール
入 場 料	3,000円(全指定)
入場者数	70人
収 支	収 益 210,900円
	費 用 824,000円
	差引額 △ 613,100円

結 果	稲沢市在住のコントラバス奏者である坂田晃一氏がプロデュースする演奏会シリーズとして、今回は管楽器をテーマに開催しました。
-----	--

No.11 A N E Tあそび塾 「創作オペラ ジャックと豆の木」	
日 程	8月21日（月）
会 場	中ホール
参 加 費	1,000 円
参加者数	参加者 16 人、発表公演入場者数 30 人
収 支	収 益 16,000 円
	費 用 405,822 円
	差引額 △ 389,822 円
結 果	愛知県芸術協会（A N E T）との協働による計画どおりの開催となりましたが、参加者数が限られることは課題となりました。

エ 機会提供事業 2事業

No. 12 アウトリーチ 名古屋文理大学 「アート&コンサート」	
日 程	11月23日（木）
出 演	伊藤真理子（ピアノ）
参加者数	30 人
収 支	収 益 0 円
	費 用 0 円
	差引額 0 円
結 果	荻須記念美術館が主催する企画『名古屋文理大学連携講座「アート&コンサート」』の出演者交渉など事業実施の協力をしました。 なお、美術館が費用負担したため、財団の収支はありません。

No. 13 こどもの芸術鑑賞支援事業「いなっピーからのおくりもの」	
対象公演	12月16日（土） 名曲コンサート「第13回稲沢特別演奏会」
招待者数	こども 10 人、保護者 6 人 合計 16 人
収 支	収 益 0 円
	費 用 28,860 円
	差引額 △ 28,860 円
結 果	昨年度と同様、ひとり親家庭の児童・生徒（中学生以下）と保護者を招待する仕組み（公募）で実施しました。

オ 娯楽事業 4 事業

No. 14 稲沢市民寄席	
No. 14-1 桂宮治落語会	
日 程	5 月 3 日 (水)
会 場	中ホール
入 場 料	3,000 円 (全指定)
入場者数	421 人
収 支	収 益 1,249,500 円
	費 用 914,056 円
	差引額 335,444 円
結 果	出演者の人気により、来場者数、収支とも娯楽事業として理想的な結果となりました。
No. 14-2 古今亭文菊独演会	
日 程	1 月 6 日 (土)
会 場	小ホール
入 場 料	2,000 円
入場者数	162 人
収 支	収 益 351,600 円
	費 用 363,348 円
	差引額 △ 11,748 円
結 果	昨年度に続く 2 回目の独演会となり、入場者数は前年度を上回りました。

No.15 ファミリーコンサート 鉄道物語 in 稲沢	
日 程	10 月 22 日 (日)
会 場	大ホール スギテツプロデュースエンターテイメントショー 小ホール 鉄道模型、写真コーナーほか
入 場 料	大ホール 1,500 円 小ホール 無料
入場者数	大ホール 326 人 小ホール 1,054 人
収 支	収 益 511,050 円
	費 用 2,785,619 円
	差引額 △ 2,274,569 円
結 果	「稲沢まつり」のイベントの一環として実施し、今年度は市内のカルチャースクール「おつつ音楽スタジオ」と協働したことにより、多くのファミリー層に来場していただきました。

No. 16 稲川淳二の怪談ナイト	
日 程	11 月 19 日（日）
会 場	大ホール
入 場 料	6,600 円（全指定）、当日 7,000 円
入場者数	558 人
収 支	収 益 3,854,480 円
	費 用 5,673,349 円
	差引額 △ 1,818,869 円
結 果	これまで企画したことがないジャンルの公演であり、広報手段として SNS による PR にも取り組みました。 東海勤労者互助会の「文化の広場」企画にも取り上げていただくなど、来場者アンケートでは初めての来館者による回答を多くいただきました。

No. 17 ファミリー映画会	
日 程	7 月 15 日（土）
会 場	中ホール
入 場 料	500 円
入場者数	60 人
収 支	収 益 34,450 円
	費 用 538,250 円
	差引額 △ 503,800 円
結 果	宮崎駿氏が初めて手掛けた長編アニメ映画「ルパン三世カリオストロの城」の上映会を実施しました。 ジブリパーク開園による注目度への期待、セル画展示などのアピールに努めましたが、入場者数は伸び悩みました。

カ 誘致事業

No. 18 誘致事業	
No. 18-1 ミュージカル「テニスの王子様」	
日 程	8 月 18 日（金）～ 20 日（日）
会 場	大ホール（4 回公演）
入 場 料	6,800 円（全指定）
入場者数	4,693 人
収 支	収 益 0 円
	費 用 119,380 円
	差引額 △ 119,380 円

結 果	中京テレビ放送が全国ツアーとして展開するミュージカル「テニスの王子様」を誘致しました。 会館の自主事業として実現が困難な規模のエンターテインメントを開催することで、会館の活性化だけでなく、存在感をアピールし、新たな来場者を獲得することができました。	
No. 18-2 JAPAN LIVE YELL やさしい日本語落語		
日 程	10 月 28 日（土）	
会 場	和室	
入 場 料	500 円（入場料は共催者の収益）	
入場者数	41 人	
収 支	収 益	100,000 円
	費 用	23,480 円
	差引額	76,520 円
結 果	愛知県芸術劇場とクリエイティブ・リンク・ナゴヤがコーディネートする「JAPAN LIVE YELL project in CHUBU」に参加しました。 企画の主旨は、文化芸術の享受、創造機会の格差をなくし、多様な社会への参画の機会について共同で取り組むことであり、稲沢公演は、留学生支援団体や市主催の日本語教室への情報提供を依頼することにより、新たな「関わり」を築くことができました。 また、運営面だけでなく、インクルーシブ社会の実現に向けて「劇場が出来ること」を意識する機会となりました。	
No. 18-3 NEWYEAR 洋と和の弦楽 CONCERT		
日 程	1 月 21 日（日）	
会 場	大ホール	
入 場 料	3,000 円（全指定）、大学生以下 1,000 円	
入場者数	307 人	
収 支	収 益	54,990 円
	費 用	0 円
	差引額	54,990 円
結 果	株式会社ジーコーポレーションが企画する西洋の弦楽器と日本の弦楽器を聞き比べるができるコンサートを誘致しました。 海外での視聴も可能な有料生配信を実施するなど、財団だけでは難しい展開手段を実現することができました。 なお、入場料は全額共催相手の収入であり、収益は会館でのチケット、物品販売手数料です。	

キ 友の会

友の会	
特 典	イベントニュース等の送付、チケットの先行販売、割引販売等
会 費	1,000 円
会 員 数	132 人 ※令和 5 年度受取会費
収 支	収 益 132,000 円
	費 用 0 円
	差引額 132,000 円
結 果	令和 3 年度から会員期間を「入会日から 1 年間」としましたが、入会案内の PR 不足が一因となり、会員数が伸び悩んでいます。 今後は、公演情報と合わせて宣伝し、会員数の増加を目指します。

(2) 勤労福祉会館事業

セントラル愛知交響楽団との連携事業「いなっピーレインボーアンサンブル」は 5 年目を迎え、定期演奏会として単独公演を実施しました。また、愛知文教女子短期大学との連携講座として、ワークショップを 2 講座開催しました。

No. 1 いなっピーレインボーアンサンブル	
○練 習	
日 程	5 月 14 日（日）～3 月 16 日（土） 合計 21 回
練習会場	勤労福祉会館 多目的ホールほか
参 加 費	月額 一般 3,000 円 高校生以下 2,000 円
参加者数	団員数 65 人
○発表会	
日 程	3 月 24 日（日）
会 場	市民会館 大ホール
入 場 料	無料（整理券）
入場者数	527 人
収 支	収 益 181,900 円
	費 用 406,447 円
	差引額 △ 224,547 円
結 果	74 名の応募がありましたが、65 名の団員で活動し、今年度は発表会を独立開催しました。 継続団員の継続制限を設けて新規入団員を毎年募集することにより、団員の固定化を防いでいますが、文化振興の活性化のためには、卒業した団員の活動サポートの必要性を感じています。

No. 2 愛知文教女子短期大学協働講座	
No. 2-1 稲沢の盆踊り！みんなで輪になって踊ろう♪	
日 程	8月2日（水）・3日（木）
会 場	稲沢市勤労福祉会館 多目的ホール
受 講 料	300 円
参加者数	19 人
収 支	収 益 5,700 円
	費 用 43,970 円
	差引額 △ 38,270 円
結 果	稲沢の盆踊りを正しく継承することを目的に愛知文教女子短期大学と協働して講座を開催しました。
No. 2-2 ミニ盆栽ワークショップ	
日 程	12月10日（日）「お正月を彩る寄せ植えのワークショップ」 2月3日（土）「春を彩る桜のワークショップ」
会 場	稲沢市勤労福祉会館 第6研修室
受 講 料	500 円
参加者数	12月・20人（応募37名）、2月・20人（応募59名）の合計40人
収 支	収 益 20,000 円
	費 用 26,300 円
	差引額 △ 6,300 円
結 果	各ワークショップとも定員を超える応募があり、参加者は抽選となりました。新規参加者も多く、人気がある講座となりました。

(3) 受託事業

事業等運営の受託	
No.1 稲沢市戦没者追悼式	
日 程	8月10日（木）
会 場	中ホール
収 支	収 益 1,999,800 円
	費 用 1,804,069 円
	差引額 195,731 円
結 果	稲沢市市民福祉部福祉課から稲沢市戦没者追悼式運営業務を受託し、舞台運営、駐車場の案内、施設確保、演奏者の手配に関する業務を実施しました。

No.2 高齢者のつどい	
日 程	9 月 16 日（土）
会 場	大ホール
収 支	収 益 2, 998, 600 円
	費 用 2, 218, 055 円
	差引額 780, 545 円
結 果	稲沢市市民福祉部高齢介護課から高齢者のつどい運営委託業務を受託し、舞台運営、駐車場の案内、司会者の配置、控室の準備・サービス、会場内外における設備等の設営・撤去、施設等の借上げ、観覧希望者の応募受付及び観覧券の配付、余興の選定・手配に関する業務を実施しました。
No.3 文化グループ発表会	
日 程	2 月 17 日（土）・18 日（日）
会 場	中ホール
収 支	収 益 1, 299, 100 円
	費 用 925, 000 円
	差引額 374, 100 円
結 果	稲沢市教育委員会事務局生涯学習課から文化グループ発表会業務を受託し、参加団体の募集、参加団との打合せ、チラシ・ポスター・プログラムの作成及び配付、発表会前日の会場設営・リハーサル、発表会当日の運営管理、終了後の撤去に関する業務を実施しました。

チケット販売等の受託	
内 容	貸館公演チケットの販売業務（15 公演）
	名古屋文理大学公開講座の受付業務（4 講座）
収 益	（販売）43, 408 円、（受付）6, 850 円 合計 50, 258 円
結 果	コロナ禍前と比較すると、取り扱い公演数は約半数ですが、公演料金の価格が上昇傾向にあり、収入は 8 割程度まで回復してきました。

2 施設の管理運営

各施設とも、安全で快適な施設の管理、サービスの提供に努めてまいりました。

施設の利用状況は回復してきており、施設利用実績について、一部施設を除き、前年度の数値を上回りました。なお、市民会館については、天井落下防止対策の改修工事により、大ホールは 4 か月間、中ホールは 7 か月間の利用停止にしたため、中ホールの利用件数などは前年度を下回りました。

(1) 稲沢市民会館の運営

ア 施設利用実績（楽屋は除く）

①年間利用件数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
大ホール	140 件	155 件	124 件	125.0%
中ホール	90 件	106 件	240 件	44.2%
小ホール	340 件	390 件	364 件	107.1%
練習室等 11 室	2,350 件	3,539 件	2,530 件	139.9%
合 計	2,920 件	4,190 件	3,258 件	128.6%

②年間利用者数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
大ホール	41,300 人	65,444 人	44,443 人	147.3%
中ホール	13,100 人	25,028 人	41,507 人	60.3%
小ホール	20,500 人	26,229 人	22,548 人	116.3%
練習室等 11 室	26,000 人	46,447 人	28,693 人	161.9%
合 計	100,900 人	163,148 人	137,191 人	118.9%

③年間利用日数

区 分	利用可能 日数	利用日数	利用率		
			今年度	前年度	増減
大ホール	193 日	147 日	76.2%	65.9%	+10.3
中ホール	129 日	102 日	79.1%	72.6%	+6.5
小ホール	324 日	283 日	87.3%	85.8%	+1.5
練習室等 11 室	3,685 日	2,441 日	66.2%	53.5%	+12.7
合 計	4,331 日	2,973 日	68.6%	57.6%	+11.0

イ 使用料徴収実績（楽屋を含む）

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
施 設	25,120,000 円	39,030,210 円	32,411,680 円	120.4%
付属設備	6,690,000 円	10,331,870 円	11,503,960 円	89.8%
合 計	31,810,000 円	49,362,080 円	43,915,640 円	112.4%

ウ 市民サービスと利便性の向上

- (ア) ホール催事の円滑な開催のため、ホール利用者との利用打合せを行いました。
- (イ) 貸館公演のチケットの受託販売を行いました。

(2) 稲沢市勤労福祉会館、稲沢市総合体育館の運営

ア 施設利用実績

(7) 勤労福祉会館

①年間利用件数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
多目的ホール	370 件	493 件	433 件	113.9%
研修室 6 室	1,800 件	2,291 件	1,879 件	121.9%
会議室 5 室	1,300 件	1,736 件	1,455 件	119.3%
日本間 2 室	270 件	371 件	296 件	125.3%
合 計	3,740 件	4,891 件	4,063 件	120.4%

②年間利用者数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
多目的ホール	30,100 人	48,738 人	37,705 人	129.3%
研修室 6 室	38,700 人	45,595 人	38,028 人	119.9%
会議室 5 室	17,900 人	25,369 人	20,366 人	124.6%
日本間 2 室	3,100 人	5,037 人	3,392 人	148.5%
合 計	89,800 人	124,739 人	99,491 人	125.4%

③年間利用日数

区 分	利用可能 日数	利用日数	利用率		
			今年度	前年度	増減
多目的ホール	349 日	258 日	73.9%	67.7%	+6.2
研修室 6 室	2,094 日	1,404 日	67.0%	52.9%	+14.1
会議室 5 室	1,745 日	996 日	57.1%	48.3%	+8.8
日本間 2 室	698 日	270 日	38.7%	27.9%	+10.8
合 計	4,886 日	2,928 日	59.9%	48.7%	+11.2

(イ) 総合体育館

①年間利用件数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
専用利用	2,000 件	1,772 件	1,737 件	102.0%
トレーニング・サウナ	300 件	394 件	349 件	112.9%
合 計	2,300 件	2,166 件	2,086 件	103.8%

②年間利用者数

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
専用利用	54,000 人	60,451 人	74,600 人	81.0%
トレーニング・サウナ	300 人	394 人	349 人	112.9%
合 計	54,300 人	60,845 人	74,949 人	81.2%

③年間利用日数

区 分	利用可能 日数	利用日数	利用率		
			今年度	前年度	増減
専用利用	1,041 日	733 日	70.4%	67.8%	+2.6
トレーニング・サウナ	347 日	212 日	61.1%	54.0%	+7.1
合 計	1,388 日	945 日	68.1%	64.5%	+3.6

※専用利用は、アリーナ、武道室兼卓球室及びボクシング室

イ 使用料徴収実績

区 分	見込み	実績	前年度実績	前年度比
勤労福祉会館	4,700,000 円	5,256,030 円	4,895,490 円	107.4%
総合体育館	7,800,000 円	8,469,220 円	7,841,670 円	108.0%
合 計	12,500,000 円	13,725,250 円	12,737,160 円	107.8%

(3) 各施設共通

ア 施設の維持管理、防災

舞台管理業務や設備管理業務、清掃業務等を、業務委託により実施しました。

また、消防訓練を年2回実施しました。

イ 市民サービスと利便性の向上

利用者の意見や要望等を把握するため、サービス評価アンケートを実施し、利用者サービスの向上に努めました。